明日へ向かって

第３学年　　学年だより
令和５年　１１月１７日
第４８号

“奏”意工夫の学習発表会③

今回は学習発表会を終えて、みなさんが感じたことを紹介するシリーズの第２弾です。

コロナ禍も明け、自分たちにとっては新たな合唱コンクールだったが、今までで一番いい合唱発表会でした。どの学年も個性あふれた作品が展示されたり、吹奏楽部の演奏では三年生の引退演奏で今までの大変さや努力してきたことが伝わるような演奏でした。聴いているとどんどん楽しくなってきてノリノリできけました。映画演劇でもたのしくみることができました。

最後の合唱コンクール。今までで一番の合唱にすることができました。本番でこれだけより合唱を演奏ができたのも日々の練習や気持ちからこれだけの進化を遂げることができたと思います。３－２は個性があふれだし個性豊かな３－２だがそれが一つになった、本番の合唱コンでは最強で最高な大地讃頌そしてあなたへを歌いあげることができました！！　遅刻した人はおいといて、日々みんなが課題に取り組み、みんなで何回も歌い、こうして３－２はより強くできていき今ではどのクラスにも負けないようなクラスになることができたと思います。本番、合唱を歌いおわり自分たちの歌をきくと、寒いのか、感動なのかわからないけど全身鳥肌がたちました。他のクラスもよかったが、他のクラスを聞いた時とは違う感動とこれだけすごい合唱を歌えた喜びと様々な感情で聴けました。あなたへの最後の「あいとなみだ」のところでは３－２が一つになり、最後の追い込みも最高でした。自分たちの演奏を聴き、心の中はいつでも金賞です。こんな個性あふれバラバラだった３－２だけどこのクラスで歌えたこと、このクラスに自分がいることに感謝をし、これから忘れるまで忘れないよう、一生の宝にしていきたいです。　　２組

学習発表会と運動会は、二大行事としてよく並べられますが、正直なところ私は学習発表会は運動会に劣っていると思っていました。ですが、今回の学習発表会を経て、その考えが変わりました。今回の学習発表会では、全てにおいて運動会に勝っていると強く感じました。合唱の部では、時に意見が食い違うこともあったと思いますが、本番が近づくにつれ意識が変わっていきよりよい合唱にしていこうという考えを持つようになったのだと思います。そうして一人一人が努力し、協力しながら歌詞に込められた意味を歌にのせていったのでしょう。反省すべきところも多くあったでしょうが、どのクラスも一つになれていたと思います。

展示の部では一人一人が個性をだし、作品に魂を込めていると感じました。舞台の部では、親子、子育てなどの様々な問題をテーマにした演劇部の演劇、流行にあわせた曲や、古き良き名曲と先生方や有志の生徒の方の踊り、アート部のクセになる上映などがありました。

これらは生徒の方々、先生方、保護者の方々の努力によって完成されたものです。学習発表会実行委員長として色々反省はありましたが、とても楽しい学習発表会でした。　　２組

今回の学習発表会は中学校生活最後だったので今まで以上に気合の入った発表会だった。その中でも私が一番力を入れたのは、合唱の練習だった。私たちのクラスが歌った「あなたへ」は自分が三年生になったら絶対に歌いたいと心に決めていた歌だった。だから、この曲を歌うことが決まった時はすごく嬉しかったし、絶対金賞を取りたいと思った。それからは、家で何度も聞いたり歌ってみたりして歌詞や音程を聞き間違えないように練習をした。そして、朝練が始まって毎日歌うようになってからクラス全員の合唱がどんどん上手くなっているのが歌っていて分かって歌うのがとても楽しかった。音楽の時間では「1 組と３組の自由曲は合唱曲として完璧に完成しているけど、あなたへは、メッセージ性の強い曲だから細かい所まで注意して歌わないと金賞は厳しい」と厳しい言葉をもらったこともあったが、金賞をとれると信じて練習してきた。そして、むかえた本番ではどのクラスの合唱もたくさん練習してきたことが聞いていて分かってとても感動する合唱だった。

３ 年 2 組の番がきてステージに立った時は、とても緊張したけど歌い始めると緊張がとけ歌うのがとても楽しかった。歌い終わってからは結果発表まで気楽に楽しんだ。結果、金賞は３組で２組が勝つことはできなくて悔しい気持ちはもちろんあったけどそれ以上にこのクラスでずっと歌ってみたかった「あなたへ」を歌えた感動の方が大きくてとても満足のいく合唱コンクールとなった。高校で合唱コンクールをやることはないかもしれないけど、クラスで協力する感動を忘れず、この経験をこれからにいかしていきたい。　　２組

今後の予定

２０日（月）	期末考査１日目
２１日（火）	期末考査２日目
２２日（水）	期末考査３日目
２４日（金）	①ESAT-J 前日指導　⑤⑥受験写真・卒アル写真
２６日（日）	東京都中学校スピーキングテスト（ESAT-J）

例によって例のごとく　提出物の準備は万端ですか？

なぜその日に提出物を出すの？と考える

もともと、なぜ「今」提出するのかを考えてみれば分かること。

多くの提出物の場合、それを整えることイコール、テスト範囲の勉強をすることに他なりません。逆に言えば、テスト範囲の勉強をきちんとやれば、提出物に課せられたことは「当然やっておくべきこと」の一つに入っているはずです。

定期テストは提出物が勉強のヒントになる

例えば問題集やワークならば、それを提出できるように整えるだけでなく、別のノートなどにもう一度やってみるとか。理科ワーク（活用ノート）などは「テスト後回収！」と公言されているのだから、ワークから出るわけです。「ワークを見直せよ！いいことあるぞ！」ってことを言ってくれているようなものです。もう一度別のレポート用紙にまとめ直すとか、重要語句を抜き出して一覧を作るとか、いくらでも工夫ができます。

普通に勉強していれば、提出物は仕上がっている

それから考えると、普通にテスト勉強をしていれば、提出物は「すでに仕上がっている」状態にあるはず。もっと完成度を上げたい人は、提出物をクリアした後でさらに勉強をすればよいのです。塾の宿題など、他のことを先にやってから、提出物だけを別個に考えてわざわざ出そうとするからたいへんになるし、二度手間になるのです。

提出物は必ず出し、なおかつ、二度三度と取り組んでおく。「なにをやったらいいのか分からない」という人は、提出物をヒントに勉強してみては？

心の準備

「テストがあるから受ける」
「数ある定期テストの中の一つ」

この程度の心構えだと痛い目に合う。このことは進路ニュース第２５号にも書いたとおり。

①「本番を見据えたテストの受け方」
②「その範囲の課題をはっきりさせるため、正々堂々と受ける」
③「受けた後が大切」

などなど、これまでのアドバイスを無駄にしないよう、しっかりと心の準備をして臨んでほしい。

用具の準備

入試本番に使用する文房具に慣れておく。この準備を始める。**定規・コンパス**はもちろん、**シャーペン**ならＢより濃いしん、**鉛筆**ならＨＢ以上のものを準備。**消しゴム**も「これ」と決めて、４分の１程度の大きさになったら次のを買っておくなどの習慣はつけよう。

また、試験の前に道具の準備をするという「作業」を行うことで、**本番への緊張感を高めることも大切**だ。用具の準備を怠って、当日動揺することにならないように。

受け方の準備

テストまで一週間足らず。あらためて**テスト範囲を見直そう。**勉強したはずが見落としていた問題や範囲はないか必ず確認する。仮に見落としていたところがあったとしても、**今なら間に合う。**

次には「解ける問題から解く」「時間配分を冷静に行う」という**シュミレーション**をやろう。

また、苦手分野が出題されたらどうするか、対策を決めておくことも重要。苦手問題に引っかかりテスト時間を無駄に取られてしまうのはもったいない。